

平成29年度北海道大学大学院

文学研究科修士課程入学試験問題（後期）

| | |
|-------|--|
| 試験区分 | <input checked="" type="checkbox"/> 一般入試 <input checked="" type="checkbox"/> 外国人留学生特別入試 <input checked="" type="checkbox"/> 社会人特別入試 |
| 試験科目名 | <input checked="" type="checkbox"/> 専門試験（日本語科学） <input type="checkbox"/> 共通外国語（） |
| 出題の意図 | <p>出題する問題は、大学院で日本語とその関連領域を科学的に研究する際に必要な基本的知識を習得済みかどうかについて確認するための設問と、研究を十分に遂行する能力を見るために、具体的事例の分析を軸に論理的表現力や応用的な説明能力を測るための設問からなる。いずれも、日本語を主たる対象に科学的な言語研究を行う上で必須となる知識と資質について受験者の準備状況を確認することを主たる出題の意図とする。</p> |

平成29年度
北海道大学大学院文学研究科修士課程入学試験問題（後期）
（専門試験） 日本語科学 全1枚のうち1枚目

この試験では、試験問題 1枚、解答用紙 3枚を配付する。

問1から問3まで全問日本語で解答しなさい。設問はそれぞれ別々の解答用紙に記入すること。

問1 以下の用語のうち4つを選んで、日本語の例を挙げるなどして具体的に説明しなさい。なお、選択した用語の記号を最初に付すこと。解答の順序は問わない。

- a. ABA 分布
- b. ポジティブ・ポライトネス
- c. 逆受動
- d. 側面接近音
- e. ジップ(Zipf)の法則
- f. 構文化
- g. てにをは
- h. 属性叙述
- i. 会話協調原理
- j. 談話標識

問2 日本語の話しことばでは、形式上文が完結していると言えない言いさしが多く見られる。この種の形式について、多角的に論じなさい。

問3 日本語で、従属節が連体修飾成分として名詞を修飾するとき、これらを便宜的に関係節構造と呼ぶと、他言語と対照して、あるいは、通言語学的に、日本語の関係節構造にはどのような特徴があるか述べてなさい。下記の例文（下線部が関係節構造）を参考にしてもよい。

- (1) 雨が降り始めた午後4時、札幌駅は観光客で混雑していた。
- (2) 花子が読書をしている横で、太郎はコーヒーを淹れ始めた。
- (3) さんまを焼いているにおいが、どこからともなく漂ってくる。
- (4) 山田代議士が昨夜赤坂の料亭で食事をした政治家を私は知っている。

以上